

## 2017 年度（第 49 年度）事業報告

### 1. 概況

児玉龍彦前理事長が、本財団の今後の十年を見据えた新体制を新しい理事長の下で構築する必要があるとの趣旨で、第 1 回定例理事会の終了の時をもって本財団の理事長職を辞任された。第 1 回定例理事会において熊ノ郷淳理事が新理事長に選定され、同理事会終了の時をもって就任された。児玉龍彦氏は、引き続き理事の役職には留まられることとなった。

御代川善朗前評議員会長が、アステラス製薬株式会社代表取締役副社長職の退任を機に、定時評議員会の終了の時をもって本財団の評議員職を辞任された。定時評議員会でアステラス製薬株式会社代表取締役副社長の安川健司氏が評議員に選任され、引き続き開催された臨時評議員会において御代川善朗氏の後任の評議員会長に選定されて、同臨時評議員会終了の時をもって就任された。その後、安川健司氏は、2018 年 4 月 1 日付でアステラス製薬株式会社代表取締役社長に就任されることとなり、同年 3 月 31 日付で本財団の評議員職を辞任された。安川健司氏の後任の評議員には、アステラス製薬株式会社執行役員の櫻井文昭氏が臨時評議員会で選任され、2018 年 4 月 1 日付で就任された。また、長年にわたり本財団の役員をお務め頂いた長澤寛道氏が、ご自身のご希望により 2017 年 9 月 30 日付で評議員職を辞任された。

昨年度に立ち上げられた将来計画検討ワーキンググループにおいて、本財団として今後支援に注力すべき領域と新たに迎えるべき学術委員の候補者について議論がなされ、2017 年度学術委員会／第 3 回定例理事会で議論されて、7 名の候補者が承認された。

2017 年度の研究助成金および海外留学補助金には、いずれも過去最多の申請があった（p4 表 1 参照）。選考委員会において 2017 年度の研究助成金の交付対象候補者と海外留学補助金の一次選考通過候補者および補欠候補者が選ばれ、第 2 回定例理事会に提案されて原案通り承認された。これに従い、研究助成金は 1 件 200 万円を 50 名に交付し、交付総額は 1 億円となった（p4～p5 表 2 参照）。昨年度の女性研究者活性化ワーキンググループの答申を受けて各選考委員から有望な女性研究者に応募を呼び掛けて頂いた結果、今年度は女性研究者からの申請が大幅に増加し、受領者中の女性比率は 34%と過去最高となった。

2017 年度の海外留学補助金においては、応募資格の中の留学開始時期を従来の募集年度 1 年間から、募集年 4 月から翌年 12 月までに大幅に拡張し、交付件数も 1 件増やして 11 件とした。申請書の評価に基づく一次選考の結果を受けて二次選考の面接を実施し、11 名の交付対象者と 1 件 200 万円～400 万円、総額 4,000 万円の交付額を決定した（p6 表 3 参照）。

第 48 回研究報告会を開催し、最優秀理事長賞（表彰状および副賞 100 万円／1 件）2 件、竹中奨励賞（表彰状および副賞 50 万円）1 件、および、優秀発表賞（表彰状）3 件を授与した。副賞の総額は 250 万円であった（p6 表 4～表 6 参照）。

2017 年 11 月 14 日に、公益認定後 2 回目となる内閣府公益認定等委員会による定期的な立入検査が実施された。対応を要する指摘事項はなかった。

## 2. 運営について

### 1) 第1回定例理事会 2017年6月3日開催

- 第1号議案：2016年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 評議員会への上程を承諾
- 第2号議案：2017年度選考委員分担の件 ⇒ 承認
- 第3号議案：理事長・専務理事 業務執行報告 ⇒ 了承
- 第4号議案：財団ホームページの改訂に関する報告 ⇒ 了承
- 第5号議案：代表理事（理事長）選定の件 ⇒ 熊ノ郷淳理事を新理事長に選定
- 第6号議案：2017年度定時評議員会招集の件 ⇒ 承認
- 第7号議案：第48回研究報告会発表要領の件 ⇒ 承認

### 2) 定時評議員会 2017年6月21日開催

- 第1号議案：2016年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 承認
- 第2号議案：後任評議員選任の件 ⇒ 御代川善朗氏の後任として安川健司氏を選任
- 第3号議案：2017年度第1回定例理事会報告の件 ⇒ 了承
- 第4号議案：2017年度助成事業への応募状況に関する報告 ⇒ 了承
- 第5号議案：今後の財団活動の方向性について ⇒ 意見交換

### 3) 第1回臨時評議員会 2017年6月21日開催

- 第1号議案：評議員会長選定の件  
⇒御代川善朗氏の後任として、安川健司氏を評議員会長に選定。

### 4) 選考委員会 2017年10月21日開催

- 第1号議案：2017年度研究助成金交付対象候補者・交付総額の件  
⇒2017年度研究助成金交付対象候補者50名、交付総額1億円を議決し、理事会への答申を承認
- 第2号議案：2017年度海外留学補助金一次選考通過候補者の件  
⇒2017年度海外留学補助金一次選考通過候補者11名、補欠候補者43名、二次選考（面接）から交付までの手順等を議決し理事会への答申を承認

### 5) 第2回定例理事会 2017年10月21日開催

- 第1号議案：2017年度研究助成金交付対象者・交付総額の件  
⇒選考委員会の提案を承認
- 第2号議案：2017年度海外留学補助金一次選考通過者の件  
⇒選考委員会の提案を承認

### 6) 学術委員会 2018年2月3日開催

- 第1号議案：女性研究者の継続的活性化の件 ⇒ 承諾
- 第2号議案：2017年度申請者へのアンケート結果と対応策の件 ⇒ 承諾
- 第3号議案：2018年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 承諾
- 第4号議案：2018年度海外留学助成事業の実施要領の件 ⇒ 承諾
- 第5号議案：今後注力する領域および新任学術委員候補者推薦の件 ⇒ 承諾

## 7) 第3回定例理事会 2018年2月3日開催

- 第1号議案：2017年度事業報告、仮収支報告の件 ⇒ 承認
- 第2号議案：2018年度事業計画、収支予算書の件 ⇒ 承認
- 第3号議案：女性研究者の継続的活性化の件 ⇒ 承認
- 第4号議案：2017年度申請者へのアンケート結果と対応策の件 ⇒ 承認
- 第5号議案：2018年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 承認
- 第6号議案：2018年度海外留学助成事業の実施要領の件 ⇒ 承認
- 第7号議案：今後注力する領域および新任学術委員候補者の件 ⇒ 承認
- 第8号議案：選考委員の報酬並びに費用に関する規程改訂の件  
⇒ 2018年度定時評議員会への上程を承諾
- 第9号議案：2018年度研究報告会開催の件 ⇒ 承認
- 第10号議案：理事長、専務理事の業務執行報告の件 ⇒ 承認
- 第11号議案：第2回立入検査に関する報告の件 ⇒ 了承

## 8) 第2回臨時評議員会 2018年3月19日書面開催

- 第1号議案：後任評議員選任の件  
⇒安川健司氏の後任として、櫻井文昭氏を評議員に選定。櫻井文昭氏は、2018年4月1日付で就任。

## 3. 事業について

### 1) 助成事業

2017年度は、研究助成金に829件、海外留学補助金に267件と、いずれも過去最多のご応募を頂いた。詳細は表1に記載(p4)。

2017年10月21日開催の選考委員会および第2回定例理事会の決定に基づき、研究助成金交付対象者50名(内、女性17名)に対し1件200万円、計1億円を交付した。詳細は表2に記載(p4~p5)。

海外留学補助金については、本財団の助成を受けることを誓約した一次選考合格者11名に対して二次選考の面接を行い、面接官3名の合意により全員を合格と判定した。合格者の平均年齢は33.0歳で、女性比率は36%であった。1件200万円~400万円、総額4,000万円の交付を決定し、内8名には2017年度内に交付済。詳細は表3に記載(p6)。

### 2) 研究報告会

2016年度(第48回)研究助成金受領者49名と、留学を終了して帰国した海外留学補助金受領者5名による研究報告会を、2017年10月21日(土)に日本工業倶楽部会館(東京都千代田区丸の内1-4-6)にて開催した。海外留学補助金受領者からの報告は今年度から開始した新たな試みである。

選考委員から各会場で最も優秀な研究であると認められた2件に最優秀理事長賞(1件に対し表彰状と副賞100万円)を授与した。

選考委員から将来が期待される若手研究者として最も多くの推薦を受けた1名に竹中奨励賞(表彰状と副賞50万円)を授与した。

発表者の相互投票を基に、選考委員による確認を経て優れた研究発表 3 件を選び、優秀発表賞（表彰状のみ）を授与した。

各褒賞受賞者は、表 4～表 6 に記載（p6）。

研究報告会プログラムを p7 に掲載。

### 3) 第 47 回助成研究報告集

2015 年度（第 47 年度）研究助成金交付対象者からの研究報告をまとめた「第 47 回助成研究報告集」を本財団ホームページ上で 2018 年 4 月 1 日に公開した。

表 1. 2017 年度研究助成金・海外留学補助金申請者数および交付対象者数

項目	申請者数(女性数)	交付対象者数(女性数)	交付金額(万円)
研究助成金	829名(186名)	50名(17名)	10,000(200/件)
海外留学補助金	267名(50名)	11名(4名)	4000(200~400/件)
総計	1096名(236名)	61名(21名)	14,000

表 2. 2017 年度研究助成金交付対象者一覧（五十音順・敬称略）

申請者氏名	所属機関(2017年10月1日現在)	研究テーマ
浅沼 克彦	千葉大学 大学院医学研究院	腎老化と細胞内タンパク分解機構の関係
荒井 緑	千葉大学 大学院薬学研究院	生死の天秤シグナルに作用する天然物基盤小分子の創成
伊藤 綾香	名古屋大学 環境医学研究所	慢性炎症性疾患における脂質代謝の意義の解明
稲垣 毅	群馬大学 生体調節研究所	代謝エピジェネティクス
井上 直和	福島県立医科大学 医学部	哺乳類の配偶子膜融合メカニズムの解明
伊原 伸治	有明工業高等専門学校 創造工学科	分泌タンパク質の局在に関わる分子基盤の遺伝学的解析
上住 聡芳	東京都健康長寿医療センター研究所	間葉系前駆細胞の老化から探るサルコペニアの発症機序
占部 大介	富山県立大学 工学部 生物工学科	稀少ポリケチドの生物有機化学的研究
大神田 淳子	信州大学 農学部	過渡的たんぱく質間相互作用を調節する合成分子の創出
太田 茜	甲南大学大学院 自然科学研究科	アポトーシスシグナリングによる温度適応制御
大宮 寛久	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	有機触媒による官能基集積型アルケンの新合成法の開発
岡部 泰賢	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所	脂肪組織における常在マクロファージの生理的機能
金澤 雅人	新潟大学 脳研究所	M2化ミクログリアによる脳梗塞機能回復療法
木村 哲也	大阪大学 微生物病研究所	マクロファージによる全身の脂質代謝制御と肥満予防
木村 元子	千葉大学 大学院医学研究院	感染免疫や腫瘍免疫に重要なNKT細胞の胸腺分化機構
倉永 英里奈	東北大学 大学院生命科学研究科	生体組織における集団細胞移動の作動原理の解明
鴻池 菜保	京都大学 霊長類研究所	統合失調症霊長類モデルの確立
小林 俊寛	自然科学研究機構 生理学研究所	ウサギ胚をモデルとしたヒト初期胚発生機構の解明
齊藤 達哉	徳島大学 先端酵素学研究所	自然炎症の惹起に関わる分子機構および実行因子の同定

表 2. 2017 年度研究助成金交付対象者一覧 (五十音順・敬称略)

申請者氏名	所属機関(2017年10月1日現在)	研究テーマ
佐々木 真理子	東京大学 分子細胞生物学研究所	DNA複製時のDNA切断からゲノム安定性を守る機構
清水 逸平	新潟大学 大学院医歯学総合研究科	抗体誘導ワクチンによる肥満関連疾患治療法の開発
白壁 恭子	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	接着分子ALCAMのシェディングによる発ガン制御
白鳥 美穂	九州大学 大学院薬学研究院	アストロサイトSTAT3活性化の新機構解明
杉浦 歩	神戸大学 大学院医学研究科	視床下部におけるペルオキシソームの代謝ストレス応答
筋野 智久	慶応義塾大学 医学部	新規腸管上皮内T細胞における細胞内代謝機構の解明
鈴木 拓児	自治医科大学 医学部	難治性呼吸器疾患に対する次世代細胞治療法の開発
鈴木 健夫	東京大学 大学院工学系研究科	ミトコンドリア機能を保つヒト特異的RNA修飾の研究
砂川 玄志郎	理化学研究所 多細胞システム形成研究センター	幹細胞を用いた低代謝誘導物質の検索
高田 穰	京都大学 放射線生物研究センター	内因性アルデヒド生成とその浄化機構によるゲノム防御
高場 啓之	東京大学 大学院医学系研究科	中枢免疫寛容の分子基盤の解明
高橋 倫子	北里大学 医学部	光プローブを活用したインスリン分泌機構の解明
田川 義晃	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科	大脳の長距離・局所神経回路構築ロジックの解明
多田 隼人	金沢大学附属病院	家族性高コレステロール血症遺伝子診断スキーム樹立
谷口 浩二	慶應義塾大学 医学部	消化器の再生・発癌のメカニズムの解明
鶴田 文憲	筑波大学 生命環境系	環境刺激による発達脳RNAスプライシングの制御
野村 征太郎	東京大学 大学院医学系研究科	統合1細胞解析による心不全患者の病態解明
馬場 義裕	九州大学 生体防御医学研究所	高親和性免疫グロブリン発現B細胞の選択・維持機構
早河 翼	東京大学 医学部附属病院	粘膜神経接合を介した消化管制御機構の解明と治療応用
原 裕貴	山口大学 大学院創成科学研究科	核内DNAによる核形態制御機構の解明
疋田 貴俊	大阪大学 蛋白質研究所	モデルマウスによる精神疾患の神経回路病態の解明
平田 英周	金沢医科大学 医学部	脳転移がん細胞の休眠維持・破綻機構の解明
平塚(中村) 佐千枝	東京女子医科大学 医学部	転移前および超早期の癌の転移の検出と治療法の確立
船戸 紀子	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	デジジョージ症候群疾患遺伝子による顎顔面発生制御
堀越 桃子	理化学研究所 統合生命医科学研究センター	閉塞性動脈硬化症の原因因子の探索
松崎 仁美	筑波大学 生命環境系	制御配列のヒト化マウスを用いたゲノム刷り込みの研究
松本 佳則	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科	サイトカイン産生、炎症の新たな制御機構の解明
水上 進	東北大学 多元物質科学研究所	機能性分子設計に基づく生体機能の光制御技術の開発
村松 里衣子	大阪大学 大学院医学系研究科	脳脊髄の組織修復を維持する分子メカニズムの解明
榎山 儀恵	自然科学研究機構 分子科学研究所	非金属錯体触媒による医薬品構成要素合成法の開発
和田 啓	宮崎大学 医学部	鉄硫黄クラスター生合成を担う超分子複合体の作動機構

表 3. 2017 年度海外留学補助金交付対象者・交付予定額（五十音順・敬称略）

氏名	申請時所属機関(注)	研究テーマ	留学先	交付額(万円)
大濠 春一	群馬大学	エクソソームを介した肺小細胞癌転移メカニズムの解明	テキサス大学(米)	400
加賀 麻弥	順天堂大学	ダリエー病/ヘイリー-ヘイリー病の体内病態の比較研究	イマジン研究所(フランス)	400
垣内 美和子	東京大学	幹細胞と幹細胞ニッチにおける制御性T細胞の働き	コロンビア大学(米)	200
後藤 容子	京都大学	小細胞肺癌の免疫機構と放射線治療抵抗性の病態解明	スタンフォード大学(米)	400
田畑 範明	熊本大学	低侵襲次世代心血管治療の臨床研究	ボン大学(ドイツ)	400
永島 一樹	東京大学	腸管免疫系を活性化する腸内細菌由来分子の探索	スタンフォード大学(米)	400
西賀 隆隆	京都大学	IPS細胞を用いた化学療法誘発性心毒性の機序解明	スタンフォード大学(米)	400
平野 満	国立循環器病研究センター	アルツハイマー型認知症の分子機構解明と創薬に向けて	ユリウスマクシミリアン大学(ドイツ)	400
的場 博亮	東京大学	マクロライド系天然物アクレキシマイシンの全合成	マックスプランク石炭研究所(ドイツ)	400
峯岸 董	横浜市立大学	関節リウマチにおける心血管合併症の発症機序解明	Duke-NUS(シンガポール)	400
吉原 正仁	理化学研究所	新規初期化因子によるヒト初期胚様幹細胞の作製	カロリンスカ研究所(スウェーデン)	200

(注) 申請時に既に留学を開始されていた方については、留学直前の所属機関を記載

表 4. 2017 年度最優秀理事長賞受賞者（五十音順・敬称略）

氏名	所属機関(受賞時)	研究テーマ
椎名 伸之	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 基礎生物学研究所 神経細胞生物学研究室	mRNA輸送と学習記憶・精神神経疾患を繋ぐ分子機構
堀 昌平	東京大学大学院 薬学系研究科 免疫・微生物学教室	制御性T細胞による免疫制御機構の解明

表 5. 2017 年度竹中奨励賞受賞者（敬称略）

氏名	所属機関(受賞時)	研究テーマ
浅井 禎吾	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系	新たな医薬資源を切り開くポストゲノム型天然物探索

表 6. 2017 年度優秀発表賞受賞者（五十音順・敬称略）

氏名	所属機関(受賞時)	研究テーマ
岡村 大治	近畿大学 農学部 バイオサイエンス学科 動物分子遺伝学研究室	細胞系譜の二元性という幹細胞のシーソーモデル
斉藤 典子	がん研究会 がん研究所 がん生物部	乳がんの再発に関わる核内長鎖非コードRNAの解析
宮成 悠介	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 基礎生物学研究所 核内ゲノム動態研究部門	クロマチン高次構造を制御する因子の同定

公益財団法人アステラス病態代謝研究会  
第48回 研究報告会

\*日時：2017年10月21日(土) 11:00~18:00

\*場所：日本工業倶楽部

東京都千代田区丸の内 1-4-6

T E L (03) 3281-1711

<総合受付> 2階 (開場 10:00~)

- 研究報告会 11:00~16:51
  - 第1会場 2F 大会堂
  - 第2会場 3F 中ホール
- 海外留学補助金受領者帰朝報告 第1会場 12:20~12:50
- 特別講演 第1会場 12:55~13:15
- 2017年度竹中奨励賞受賞講演 第1会場 13:15~13:25
- 交流会 3F 大ホール 17:00~18:00

★ご発表者の皆様へ★

1. 本財団の規程により、事前に「秘密保持等に関する誓約書」のご提出をお願いします。
2. 総合受付2階大会堂前にてネームカードをお渡しいたしますので、必ずご着用の上、会場にお入りください。
3. クロークは、1F入口にあります。

## 附属明細書

補足すべき重要な事項はありません。すべて事業報告に記載済みです。

以上